

1) 推奨種カルテ

記載項目について

和名、学名	標準和名、科名、学名は、基本的に「琉球植物目録」に準じた。
別名、方言	別名がある場合は記載した。方言名は沖縄本島の方言名を記載した。
生育型	高木、低木、草本類、地被類、つる性種 樹木は樹高によって、以下の2段階に分けた。 高木類：樹高7m以上、低木類：樹高7m未満
原産地・分布	原産と自然分布域を記し、植栽による分布域は含めていない。多くの地域にまたがっている場合は広域名で示した。また、原産地が明確である場合は、原産地名と分布地名を併記した。
繁殖	実生、播種、挿木、取木、株分等 その植物の最も有効な繁殖方法について順に示した。繁殖方法は、「播種」、「挿木」、「取木」、「株分」、「分球」などを挙げた。
見た目の特徴	それぞれの植物の花、葉、茎、実等の特徴について記述した。
植栽・管理のポイント	日当たり、土壌、施肥等 栽培するうえで注意しなければならない日当たり、土壌、施肥に関することや、管理の要点、病害虫などについて記した。
食樹・食草として利用する動物	当該樹種を、食樹・食草として利用している動物を記した。特に昆虫類は多様な種が利用するため、分類群をチョウ類、ガ類、甲虫類、その他に分けて表記した。樹液を利用する甲虫類、セミ類や花を吸蜜するチョウ類については、利用する種が広範囲に及ぶため記載していない。
備考	人々との関わり・利用方法、市民の評判など古くからの人々との関わりやその利用方法などを記した。 公園利用者への植栽木に関するアンケート調査の結果から得られた印象などを記した。

カルテの色分けについて

次項から掲載する推奨種カルテは、植物のタイプによって下表のように色分けをしています。

高木	概ね樹高7m以上になる樹木
低木	概ね樹高7m未満の樹木
草本	茎が木質化しない、シダ類を含む一年生や多年生の植物
地被類	地表面及び壁面を被覆する目的で植栽される植物と芝類
つる性植物	自立せず、他の植物や支柱を支えにして上方へ伸びる植物

生育型	種名	ページ数	生育型	種名	ページ数
高木	アカテツ	32	低木	ゲッキツ	73
高木	アコウ	33	低木	サキシマフヨウ	74
高木	アマミアラカシ	34	低木	ショウロウクサギ	75
高木	イスノキ	35	低木	ソテツ	76
高木	エゴノキ	36	低木	トベラ	77
高木	オオハマボウ	37	低木	ネズミモチ	78
高木	オキナワシャリンバイ	38	低木	ボチョウジ	79
高木	ガジュマル	39	低木	マサキ	80
高木	カンヒザクラ	40	低木	モンパノキ	81
高木	クスノハカエデ	41	低木	クロトンノキ	82
高木	クロヨナ	42	低木	県外産ツゲ類	83
高木	クワノハエノキ	43	低木	テイキンザクラ	84
高木	サガリバナ	44	低木	ハイビスカス類	85
高木	サンゴジュ	45	低木	ブッソウゲ	86
高木	シマグワ	46	低木	マツリカ	87
高木	シマトネリコ	47	草本類	オオタニワタリ類	88
高木	センダン	48	草本類	オキナワウラボシ	89
高木	タイワンウオクサギ	49	草本類	ゲットウ	90
高木	タブノキ	50	草本類	コモチシダ	91
高木	テリハボク	51	草本類	タマシダ類	92
高木	ニッケイ	52	草本類	ツワブキ	93
高木	ハマイヌビワ	53	草本類	テッポウユリ	94
高木	ハマビワ	54	草本類	ハマオモト	95
高木	ビロウ	55	草本類	ボタンボウフウ	96
高木	ホルトノキ	56	草本類	ヤブラン	97
高木	モクタチバナ	57	草本類	クササンダンカ	98
高木	モモタマナ	58	草本類	タマスダレ	99
高木	ヤブツバキ	59	地被類	オキナワハイネズ	100
高木	ヤブニッケイ	60	地被類	ギョウギシバ	101
高木	リュウキュウコクタン	61	地被類	クロイワザサ	102
高木	リュウキュウマツ	62	地被類	コウシュンシバ	103
高木	サルスベリ類	63	地被類	イヌシバ	104
高木	ソシンカ類	64	地被類	ツルメヒシバ	105
高木	トックリキワタ	65	つる性種	アマミツタ	106
高木	フクギ	66	つる性種	オオイタビ	107
低木	アダン	67	つる性種	コウシュンカズラ	108
低木	オオムラサキシキブ	68	つる性種	サクララン	109
低木	オキナワツゲ	69	つる性種	ハマニンドウ	110
低木	クサトベラ	70	つる性種	ホウライカガミ	111
低木	クチナシ	71	つる性種	リュウキュウテイカカズラ	112
低木	クロツグ	72			

アカテツ	アカテツ科	<i>Planchonella obovate</i>	在来種
別名	— 方言名 チーギ、アンマーチーギ、アンマーチチ、トゥノキ		
生育型	高木 常緑広葉樹	繁殖	実生、挿木
			
分布	台湾、南中国、フィリピン、マレーシア、ポリネシア、小笠原諸島、琉球諸島		
見た目の特徴	樹皮が赤褐色で、遠くから見ると樹木全体が赤みがかって見える。	用途	防潮林、公園樹、庭園樹
植栽・管理のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・耐潮性が強く海岸近くの植栽に適する。 ・石灰岩性土壌を好む。 ・剪定は小枝を多数分枝するので混み合っ枝をはぶく程度とする。 ・切口から腐朽しやすいので腐朽防止処理を行う。 ・病害虫の被害は少ない。 			
食樹・食草として利用する動物 【昆虫類】 ガ類：オオシラホシアシブトクチバ、ウンモンマドガ			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など） 建築材、船材、薪炭材として利用される。			

アコウ		クワ科	<i>Ficus superba</i> var. <i>japonica</i>	在来種
別名	ウスク	方言名	アコー、アコーギー、ウスクガジマル、アホギ	
生育型	高木 常緑広葉樹	繁殖	実生、挿木、取木	
				
分布	台湾、南中国、東南アジア 日本では南日本			
見た目の特徴	用途			
良く分岐し、傘状の広い樹冠を形成する。		街路樹、公園樹、緑陰樹、防風防潮林		
植栽・管理のポイント				
<ul style="list-style-type: none"> ・好アルカリ性植物である。 ・耐潮風性に優れる。 ・栽培は容易である。自然樹形を基本に剪定する。 ・根が地表面に現れ、根暴れすることがある。 				
食樹・食草として利用する動物				
【哺乳類】 オリイオオコウモリが果実を採餌				
【鳥類】 ズアカアオバト、ヒヨドリ、シロガシラなどが果実を採餌				
【昆虫類】 チョウ類：イシガケチョウ、ガ類：アコウノメイガ、アコウハマキモドキ、ムツテンノメイガ、甲虫類：イチジクカミキリ、キボシカミキリ、アヤモンチビカミキリ、その他：キイロワタフキカイガラムシ、アオイロシロカイガラムシ				
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）				
家畜の飼料として利用される。				

アマミアラカシ

ブナ科

Quercus glauca var. *amamiana*

在来種

別名 -

方言名 カシギー、カシギ

生育型 高木 常緑広葉樹

繁殖 実生



分布 奄美、徳之島、沖縄、石垣、与那国、魚釣

見た目の特徴

幹は直立し、葉は表面は緑色、裏面は青白色を帯びる。樹皮は暗緑灰色で灰白色の皮目が著しい。

用途

公園樹

植栽・管理のポイント

- ・石灰性土壌を好むが、酸性土壌でも生育する。
- ・比較的丈夫である。

食樹・食草として利用する動物

【哺乳類】 オリイオオコウモリが花や新芽を採餌

【昆虫類】 チョウ類：ムラサキシジミ、ガ類：ムモンフサキバガ、クロツマキシヤチホコ、スネフトヒメハマキ、オオルリオビクチバ、オオトビモンシャチホコ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

薪炭材、建築材として利用される。

ドングリをつけるため、市民に人気がある。

イスノキ

マンサク科

Distylium recemosum

在来種

別名 ヒヨンノキ 方言名 ユシギ、ユシ、ユスギ、アドムギー、ユシギギ、ヨスノキ

生育型 高木 常緑広葉樹 繁殖 実生



分布 台湾、中国南部 沖縄各島（大東島を除く）近畿以南

見た目の特徴

葉は厚く良く照る。樹皮は帯緑暗灰褐色で、幹は直立する。小枝や葉に虫こぶがよく見られる。

用途

屋敷林、防風林、街路樹、公園樹

植栽・管理のポイント

- ・やや内陸部の植栽に適する。
- ・萌芽力は比較的強い。
- ・生長が遅いので、剪定は控えめに行う。
- ・剪定は下枝を落とし、枝抜き等を行う。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】チョウ類：ヤクシマルリシジミ、ガ類：イスノキホソガ、レイシウスバヒメハマキ、ヤクシマドクガ、ヤママユ、イスノキホソキバガ、マエグロマイマイ、甲虫類：オキナワゴマフカミキリ、オキナワムツボシカミキリ、リュウキュウクリタマムシ、その他：イスノキシロカイガラムシ、イスノフシアブラムシ、ミカンコナジラミ、アオバハゴロモ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材はち密で堅いため、楽器材、木櫛材、建材、指物、彫刻など多用途に供する。コクタンの代用品として三線の棹に用いる。薪炭材としても利用される。

エゴノキ

エゴノキ科

Styrax japonica

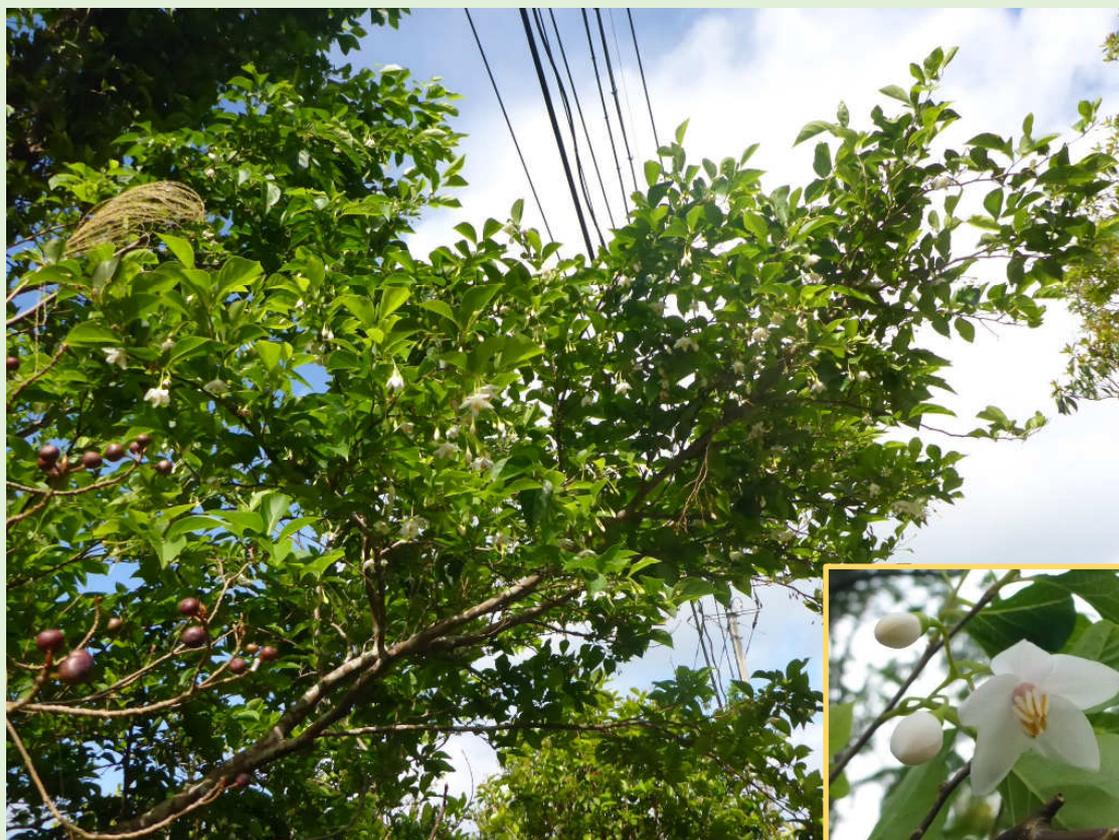
在来種

別名 -

方言名 ロクロギ、シチャマギ

生育型 高木 落葉広葉樹

繁殖 実生



分布 朝鮮、中国、台湾、フィリピン北部、北海道～九州、沖縄

見た目の特徴

幹は真っ直ぐ伸び、円錐状の樹形である。
樹皮は帯紫褐色で、花は星形をした白色で
下向きに咲く。

用途

庭園樹、公園樹、添景樹

植栽・管理のポイント

- ・剪定はあまり必要としない。
- ・やや湿気がある場所を好む。

食樹・食草として利用する動物

【鳥類】カラスバトやヤマガラが果実を利用する。

【昆虫類】ガ類：ホリシャシャチホコ、ツマキリウスキエダシヤク

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材は漆器の素材、薪炭材として、種子は魚毒として利用される。

オオハマボウ

アオイ科

Talipariti tiliaceum

在来種

別名 シマハマボウ

方言名 ユウナ、ユーナギー、カーサギー

生育型 高木 常緑広葉樹

繁殖 実生、挿し木



分布 亜熱帯、熱帯、屋久島以南

見た目の特徴

花は黄色、橙色に変化する。幹は通常直立せず、多く分岐し、低く這うようにして密な半円形の樹冠を作る。

用途

防風防潮林、庭園樹、街路樹

植栽・管理のポイント

- ・ 海岸地域の植栽に適するが、単木植えの場合、耐風性が弱い。
- ・ 酸性土壌、石灰岩性土壌ともによく生育する。
- ・ 病気はほとんどない。
- ・ 幹の太さの割には枝張りの生長が早く良く茂る。
- ・ 台風前の整枝剪定は欠かせない。
- ・ 幹が曲がりやすいので適宜剪定して樹形を整える必要がある。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：オキナワオオアカキリバ、カメムシ類：シロジュウジカメムシ、アカホシカメムシ、その他：キジラミ類、カイガラムシ類、アブラムシ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

葉は家畜の飼料、緑肥として利用される。樹皮の繊維が強いため、敷物、織物、結索用として利用される。材は、漁網の浮き木として利用される。かつて柔らかい葉はトイレトペーパーの代用品として利用された。

●公園利用者人気アンケート（高木）ワースト2

オキナワシャリンバイ

バラ科

Raphiolepis indica

在来種

別名 ホソバシャリンバイ

方言名 テカチ、テカチャー、トウカチギー、ティチ、キカ
ツギー、タカチ、ティカツ

生育型 高木 常緑広葉

繁殖 実生、挿木



分布 台湾南部、沖縄各島

見た目の特徴

枝葉が密に輪生状に付き、梅のような花を
咲かせる。

用途

防風林、庭園樹、生垣

植栽・管理のポイント

- ・海浜地域の植栽に適する。
- ・土壌は選ばない。
- ・刈込に耐えるが、萌芽力はあまり強くないので、こまめに剪定する。

食樹・食草として利用する動物

【哺乳類】 オリオオコウモリが花や果実を採餌

【昆虫類】 ガ類：ムモンフサギバガ、マエグロマイマイ、ビワフサギバガ、ウスキツバメエダ
シャク、シャリンバイハモグリガ、コシロモンドクガ、甲虫類：台湾ナガボソタマムシ、
その他：ワタアブラムシ、キジラミ、アオバハゴロモ、ツノロウムシ、オンシツマルカイガラ
ムシ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

伝統的な織物（大島紬、芭蕉布、漁網）などの茶色の染色材料、薪炭材として利用される。

ガジュマル		クワ科	<i>Ficus microcarpa</i>	在来種
別名	－	方言名	ガジマル、ガツムレー、ガジマギー、ガザマギー	
生育型	高木 常緑広葉樹	繁殖	実生、挿木	
				
分布	台湾、熱帯アジア、オーストラリア 日本では屋久島～琉球列島			
見た目の特徴	用途			
幹や枝から気根を垂らし、支柱根を形成する。場所によっては、その特異な形状が神秘奇怪に見えることから神木霊木となっている。		街路樹、公園樹、緑陰樹、防風防潮林		
植栽・管理のポイント				
<ul style="list-style-type: none"> ・日当たりの良い水はけの良い場所を好む。 ・混んだ枝葉は台風などによる折損、倒木の原因になりやすいので、台風前に枝抜き剪定を行い、風通しを良くする。 ・根が地表面に現れ、根暴れすることがある。 				
食樹・食草として利用する動物				
【哺乳類】 オリオオコウモリが果実・未熟果を採餌				
【鳥類】 ヒヨドリ、シロガシラ、コムクドリ、ムクドリなどが果実を採餌				
【昆虫類】 チョウ類：イシガケチョウ、ツمامラサキマダラ、マルバネルリマダラ、ガ類：スキバドクガ、ホシヒトリモドキ、甲虫類：オキナワイチモンジハムシ、イチジクカミキリ、その他：クロカタカイガラムシ、ガジュマルケクダアブラムシ、ガジュマルクダアザミウマ				
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）				
家畜の飼料として利用される。				
●公園利用者人気アンケート（高木） トップ2				

カンヒザクラ		バラ科	<i>Cerasus campanulata</i>	在来種
別名	ヒカンザクラ		方言名	サクラ、ヤマザクラ、シワスバラ
生育型	高木 落葉広葉樹		繁殖	実生、挿木、取木
				
分布	台湾、南中国原産 久米島、石垣島では逸出し野生化している。			
見た目の特徴	花は下垂性の濃い紅色である。濃淡に変化が多い。		用途	公園樹、街路樹、庭園樹
植栽・管理のポイント				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 内陸部の植栽に適する。 ・ 日当たりが良く、排水の良い場所に植栽する。 ・ 土壌は特に選ばないが、やや酸性土壌を好む。 ・ 根本部分からの徒長枝（ひこばえ）は、樹形を悪くするので早期に剪定する。 ・ 花は前年枝に着生するので、剪定する際は4月頃に行う。 ・ 病害虫の被害に遭いやすい。 				
食樹・食草として利用する動物				
【哺乳類】 オリイオオコウモリが花と果実を採餌				
【鳥類】 シロガシラ、ズアカアオバトが花と果実を採餌				
【昆虫類】 ガ類：オオミノガ、タイワンキドクガ、トビモンオオエダシャク、コーヒーゴマフボクトウ、その他：ナンクロホシカイガラムシ、クロトンアザミウマ、アブラムシ類				
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）				
彫刻材、装飾用木工材、薪炭材として利用される。				
●公園利用者人気アンケート（高木） トップ1				

クスノハカエデ

カエデ科

Acer oblongum var. *itoanum*

在来種

別名 -

方言名 マミク、マモク

生育型 高木 常緑広葉樹

繁殖 実生、挿木



分布 沖永良部、与論、沖縄諸島

見た目の特徴

樹皮は灰白色で、葉は薄い革質で卵形、花は紅色、実は翅果である。

用途

庭園樹、街路樹、防風樹

植栽・管理のポイント

- ・石灰性土壌を好む。
- ・日当たりの良い場所を好むが、耐陰性もある。
- ・病虫害の被害は少ない。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：ネジロフトクチバ、ナンカイヒゲブトナミシャク、サザナミシロアオシャク、甲虫類：オオシマゴマダラカミキリ、オキナワミドリナガタムシ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

材は建築材、家具材として、葉は緑肥として利用される。

クロヨナ		マメ科	<i>Pongamia pinnata</i>	在来種
別名	－	方言名	ウカバ、ウカバギ、ウカファ、アワキ、ハビロ	
生育型	高木 常緑広葉樹	繁殖	実生、挿木	
				
分布	台湾、南中国、インド、マレーシア、オーストラリア、ポリネシア、奄美以南			
見た目の特徴	用途			
葉の表面に光沢があり、花は淡紅紫色の小さな花が多数集まって枝の先端に咲く。一般に幹は通直にならず、低いところから分岐する。	街路樹、公園樹、防風防潮林			
植栽・管理のポイント				
<ul style="list-style-type: none"> ・耐潮性が強いので、海岸地域の植栽に適する。 ・日当たりが良く、排水の良い場所に植栽する。 ・乱れた樹冠になりやすいので、適宜剪定し樹姿を整える。 ・剪定は開花後に行う。 ・病虫害の被害は少ない。 				
食樹・食草として利用する動物				
<p>【昆虫類】チョウ類：オキナワピロウドセセリ、ルリウラナミシジミ、ウラナミシジミ、ヒメウラナミシジミ、ウスアオオナガウラナミシジミ、ウラギンシジミ、ガ類：マルモンクチバ、アンボイナノメイガ、甲虫類：ムネモンアカネトラカミキリ、オキナワゴマフカミキリ、オキナワナガタマムシ、カメムシ類：ツヤマルカメムシ</p>				
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）				
葉は緑肥として利用される。				
樹皮からタンニンや繊維が取れる。皮膚病の薬として利用された。				

クワノハエノキ

ニレ科

Celtis boinensis

在来種

別名 リュウキュウエノキ

方言名 ブンギ、ビンギ、カビンギー、フクイ

生育型 高木 落葉広葉樹

繁殖 実生



分布 長門以南～屋久島、小笠原、沖縄

見た目の特徴

樹皮は灰白色で斑点がある。花は淡緑色の小さな花を咲かせ、実は球形で赤褐色に熟する。

用途

庭園樹、屋敷林

植栽・管理のポイント

- ・日当たりが良い場所を好む。
- ・石灰性土壌を好む。
- ・大木になりやすいので、植える場所に配慮する必要がある。

食樹・食草として利用する動物

【哺乳類】 オリオオコウモリが新芽を採餌

【鳥類】 ヒヨドリが果実を採餌

【昆虫類】 チョウ類：テングチョウ、フタオチョウ、ガ類：エノキアカオビマダラメイガ、甲虫類：オオシマルリタマムシ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

器具材（まな板など）、薪炭材、実は食用となる。

サガリバナ		サガリバナ科	<i>Barringtonia racemosa</i>	在来種
別名	サワフジ	方言名	キーフジ、ズルカキ	
生育型	高木 常緑広葉樹	繁殖	実生、挿木	
				
分布	台湾、南中国～インド、マレーシア、ミクロネシア、ポリネシア、奄美以南			
見た目の特徴	花は一般に白色で 30～60cm 伸びて下垂し、基部から順次咲いていく。夜間に開花する。果実は黄褐色で卵形である。	用途	川岸の防風、公園樹、緑陰樹、街路樹、庭園樹	
植栽・管理のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・半日陰に耐える。 ・乾燥地を避け、肥沃で湿潤な場所に植栽する。 ・樹勢が強く、樹形が乱れやすいので剪定はバランスを考慮して行う。 ・病害虫の被害は少ない。 ・ガの仲間が夜間に花粉媒介を行うため、照明を用いてガを誘引し受粉を促す事例もある。 			
食樹・食草として利用する動物	【昆虫類】ガ類			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）	<p>生果を砕いて魚毒に利用される。</p> <p>樹皮にタンニンを含み、漁網を染めるの利用される。</p>			

サンゴジュ		スイカズラ科	<i>Viburnum odoratissimum</i>	在来種
別名	オキナワサンゴジュ		方言名	ササギー、ササガー
生育型	高木 常緑広葉樹		繁殖	実生、挿木
				
分布	朝鮮（済州島）、台湾、本州西部以南			
見た目の特徴	光沢葉を持つ整った樹姿、熟した紅色果実。		用途	公園樹、生垣、防火樹
植栽・管理のポイント				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌は特に選ばないが、やや湿り気のある粘質土を好む。 ・ 内陸部の植栽に適する。 ・ 耐陰性がある。 ・ 萌芽力が強く、強剪定に耐える。 ・ 徒長枝が多数出るので適宜剪定を行う。 ・ 病害虫の被害は少ない。 				
食樹・食草として利用する動物				
<p>【昆虫類】ガ類：オキナワカギバ、ミナミクロホシフタオ、甲虫類：サンゴジュハムシ、コガネムシ類、その他：クロホシマルカイガラムシ、ハゼアブラムシ、アザミウマ類、ウンカ類</p>				
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）				
材は工作、小細工物に利用される。葉は魚毒に用いる。				

シマグワ		クワ科	<i>Morus australis</i>	在来種
別名	－	方言名	バンキィギー、クワギ、ナデス、コンギ	
生育型	高木 落葉広葉樹	繁殖	実生、挿木	
				
分布	台湾、東南アジア、九州南部以南			
見た目の特徴	葉は卵形で表面に光沢がある。花は目立たない。	用途	公園樹、庭園樹、養蚕飼育用	
植栽・管理のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・やや内陸部の植栽に適する。 ・日当たりが良く、やや湿潤で土層の深い場所を好むが、比較的やせた土地でも生育する。 ・幼苗期に基本樹形を整えるために剪定する。 ・台風の被害を受けやすく、直ちに落葉するが回復力は極めて高い。 			
食樹・食草として利用する動物	<p>【哺乳類】 オリイオオコウモリが果実を採餌</p> <p>【鳥類】 シロガシラ・ヒヨドリなどが果実を採餌</p> <p>【昆虫類】 甲虫類：クワカミキリ</p>			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）	葉は家畜の飼料、緑肥として、樹皮は紙の原料として、果実は食用として利用される。			

シマトネリコ		モクセイ科	<i>Fraxinus griffithii</i>	在来種
別名	タイワンシオジ	方言名 ジンギ、コバナギ、ウヌハカギー		
生育型	高木 半落葉広葉樹	繁殖 実生、取木		
				
分布	台湾、南中国、沖縄			
見た目の特徴	<p>細い枝が多数伸びる。花は黄白色で枝の先端に咲き、樹冠を覆い美しい。幹は曲がりやすく、低いところから良く分岐する。</p>		用途	
			街路樹、公園樹、庭園樹、緑陰樹	
植栽・管理のポイント				
<ul style="list-style-type: none"> ・やや湿り気がある所を好む。 ・日陰でも良く生育する。 ・生長は早いですが、剪定にはあまり強くない。 ・病害虫の被害は少ないが、大きな毛虫（スズメガ類）が付く場合がある。 				
食樹・食草として利用する動物				
<p>【哺乳類】 オリオオコウモリが花を採餌</p> <p>【昆虫類】 ガ類：シマケンモン、スズメガ類、甲虫類：フトヒゲアメイロカミキリ クマゼミが好んで吸汁する。その傷跡から樹液が出てクワガタやカブトムシが集まる。</p>				
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）				
家具、農具の柄の材料として利用される。				

センダン		センダン科	<i>Melia azedarach</i>	在来種
別名	台湾センダン	方言名	シンダン、シンダンギー	
生育型	高木 落葉広葉樹	繁殖	実生	
				
分布	台湾、中国、西アジア、九州以南			
見た目の特徴	樹形は横に広がり傘状の樹冠を形成し、淡紫色の花が枝の先にまとまってつく。			
	用途	庭園樹、街路樹、緑陰樹		
植栽・管理のポイント				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生長は非常に早い。 ・ 内陸部の植栽に適する。 ・ 土壌は特に選ばないが、排水が良い場所を好む。 ・ 自然樹形を基本とし、剪定は枯枝や無駄枝を除去する程度に留める。 ・ 病虫害の被害は少ないが、カミキリムシには弱い。 				
食樹・食草として利用する動物				
【哺乳類】 オリイオオコウモリが果実を採餌				
【鳥類】 ヒヨドリ、シロガシラ、シロハラが果実を採餌				
【昆虫類】 ガ類：フトスジエダシャク、チャハマキ、センダンヒメハマキ、甲虫類：ゴマダラカミキリ、台湾ゴマダラカミキリ、ククイムシ、その他：アカマルカイガラムシ				
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）				
家具材、樹皮は薬用として利用される。				